

ホリナート錠 25mg 「トーフ」

【この薬は？】

販売名	ホリナート錠 25mg 「トーフ」 FOLINATE TABLETS 25mg “TOWA”
一般名	ホリナートカルシウム Calcium Folate
含有量 (1錠中)	27mg (ホリナートとして 25mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、還元型葉酸製剤です。
- ・この薬は、テガフルル・ウラシル配合剤（抗がん剤）の効果を高めます。この薬自体には抗がん効果はありません。
- ・次の目的で処方されます。

ホリナート・テガフルル・ウラシル療法：

結腸・直腸癌に対するテガフルル・ウラシルの抗腫瘍効果の増強

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この療法は、重篤な下痢がおり、致命的な経過をたどることがあります。激しい腹痛、下痢などの症状があらわれた場合には、ただちに中止し、受診してください。
- この療法は、劇症肝炎など重篤な肝障害（食欲不振、体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、意識の低下）、重篤な骨髄抑制（発熱、体がだるい、出血しやすい）がおり、致命的な経過をたどることがあるので、早期発見のため、定期的（少なくとも1クール*に1回以上、特に飲み始めてから2クールは各クールを始める前および当該クールの中に1回以上）に肝機能検査、血液検査が行われます。また、このような症状があらわれた場合には、ただちに中止し、受診してください。
 - *「クール」については使用量および回数の項を参照してください。
- 次の人は、この療法を行うことはできません。
 - ・重篤な骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）がある人
 - ・下痢（水様便）がある人
 - ・重篤な感染症にかかっている人
 - ・過去にホリナート錠やテガフル・ウラシル配合剤に含まれる成分で重篤な過敏な反応を経験したことがある人
 - ・テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワン）を使用している人および使用を中止して7日以内の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）がある人
 - ・肝臓に障害がある人、または過去に肝臓に障害があった人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・心臓に障害がある人、または過去に心臓に障害があった人
 - ・消化管潰瘍（かいよう）または消化管出血がある人
 - ・耐糖能異常のある人
 - ・水痘（みずぼうそう）にかかっている人
 - ・高齢の人
 - ・他の化学療法による治療、放射線治療を受けている人
 - ・前に化学療法による治療を受けていた人
 - ・小児
- この療法には併用してはいけない薬 [テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワン）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

1回量	1錠
飲む回数	1日3回（約8時間ごとに）

- ・通常 28日間連続で飲み、その後7日間休みます。これを1クールとして繰り返します。
- ・必ずテガフル・ウラシル配合剤と同時に、食事の前後1時間を避けて飲んでください。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずにとぼして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。テガフル・ウラシル配合剤を飲み忘れた場合も同様にしてください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この療法は、重篤な下痢、腸炎等がおこり、致命的な経過をたどることがあります。激しい腹痛、下痢などの症状があらわれた場合には、ただちに中止し、受診してください。
- ・この療法では、劇症肝炎、重篤な骨髄抑制などの副作用がおこり致命的な経過をたどることがあるので、使用中は定期的（少なくとも1クールに1回以上、特に服用開始から2クールは、各クール開始前および当該クール中に1回以上）に肝臓、血液の検査が行われますので受診日を守ってください。
- ・この療法では、体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなることがあります。人ごみを避けたり、外出後は手洗いやうがいなどをしたり、感染症にかからないように気をつけてください。
- ・出血しやすくなることがあります。鼻血、歯ぐきの出血、青あざなどの症状に気をつけてください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの療法を行っていることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	鼻血、息切れ、あおあざができる、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、体がだるい、発熱、出血しやすい、のどの痛み、動悸（どうき）、めまい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、体がだるい、動く時の動悸（どうき）や息切れ
重篤な肝障害 じゅうとくなかんしょうがい	発熱、判断力の低下、かゆみ、皮膚が黄色くなる、吐き気、発疹（ほっしん）、嘔吐（おうと）、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ、体がだるい、白目が黄色くなる、食欲不振、考えがまとまらない
肝硬変 かんこうへん	あおあざができる、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がだるい
脱水症状 だつすいしょうじょう	体がだるい、尿量が減る、下痢、のどが渇く、意識がうすれる、深く大きい呼吸、手指のふるえ、考えがまとまらない、判断力の低下
重篤な腸炎（出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎） じゅうとくなちょうえん（しゅつけつせいちょうえん、きょけつせいちょうえん、えしせいちょうえん）	吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、激しい腹痛、急激な腹痛、発熱、血が混ざった便、むかむかする、腹がはる
白質脳症などを含む精神神経障害 はくしつのおうしょうなどをふくむせいしんしんけいしょうがい	ぼんやりする、ふらつき、覚えられない、物忘れ、けいれん、しゃべりにくい、意識がなくなる
狭心症 きょうしんしょう	胸が押しつぶされるような感じ、冷や汗、胸の痛み、胸がしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ
心筋梗塞 しんきんこうそく	息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、冷や汗
不整脈（心室性頻拍などを含む） ふせいみやく（しんしつせいひんぱくなどをふくむ）	脈がとぶ、脈が乱れる、脈が速くなる、息切れ、動悸（どうき）、気を失う、意識がなくなる、胸部異和感、胸の痛み
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、体がだるい、息苦しい、体のむくみ
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	全身の著明なむくみ、尿量が減る

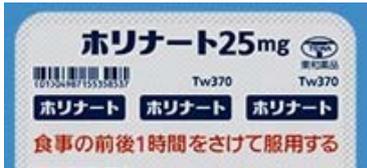
重大な副作用	主な自覚症状
嗅覚脱失 きゅうかくだっしつ	臭いがわからない
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
急性腭炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、急に激しくおなかが痛む、急に激しく腰や背中が痛む
重篤な口内炎 じゅうとくなこうないえん	口の中が荒れて痛い
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐（おうと）、黒色便、血が混ざった便、胃の痛み
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	血が混ざった便、黒色便、吐き気、血を吐く、腹痛、嘔吐（おうと）
皮膚粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステイーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹（ほっしん）、まぶたや眼の充血、食欲不振、体がだるい、結膜のただれ
中毒性表皮壊死症 （Lyell 症候群） ちゅうどくせいひょうひえししょう（ライエルしょうこうぐん）	関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、体がだるい
ショック ショック	めまい、頭痛、立ちくらみ、息切れ、意識がうすれる、冷や汗、考えがまとまらない、血の気が引く、判断力の低下
アナフィラキシー様症状 アナフィラキシーようしょうじょう	眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、意識の低下、息切れ、判断力の低下、動悸（どうき）、体がだるい、ほてり、考えがまとまらない、じんましん、息苦しい、ふらつき

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、発熱、ふらつき、立ちくらみ、疲れやすい、体のむくみ、全身の著明なむくみ、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、関節の痛み、けいれん、冷や汗
頭部	頭痛、頭が重い、めまい、意識の低下、考えがまとまらない、意識がうすれる、ぼんやりする、意識がなくなる
顔面	鼻血、臭いがわからない、血の気が引く、ほてり
眼	白目が黄色くなる、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	歯ぐきの出血、血を吐く、吐き気、嘔吐（おうと）、のどが渇く、から咳、口の中が荒れて痛い、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、しゃべりにくい、のどの痛み、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声

部位	自覚症状
胸部	息切れ、動悸（どうき）、動く時の動悸（どうき）や息切れ、深く大きい呼吸、息苦しい、吐き気、胸が押しつぶされるような感じ、胸の痛み、胸がしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、胸部異和感
腹部	吐き気、食欲不振、激しい腹痛、胃痛、胃の痛み、急に激しくおなかが痛む、むかむかする、急激な腹痛、腹がはる
背中	急に激しく腰や背中が痛む
手・足	手指のふるえ、羽ばたくような手のふるえ、関節の痛み、脈がとぶ、脈が乱れる、脈が速くなる
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、かゆみ、発疹（ほっしん）、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹（ほっしん）、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、じんましん
便	下痢、黒色便、血が混ざった便
尿	褐色尿、尿量が減る、尿がでない
その他	出血がとまりにくい、出血しやすい、陰部の痛み、判断力の低下、覚えられない、物忘れ、気を失う

【この薬の形は？】

PTP シート	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> </div>			
形状	<p>素錠</p> 			
錠径	8.0mm			
厚さ	3.5mm			
重さ	180mg			
色	淡黄白色			
本体表示	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">表</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">Tw 370</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">裏</td> </tr> </table>	表	Tw 370	裏
表	Tw 370			
裏				

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ホリナートカルシウム
添加物	乳糖水和物、軽質無水ケイ酸、ヒドロキシプロピルセルロース、黄色三二酸化鉄、D-マンニトール、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、その他3成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：東和薬品株式会社 (<http://www.towayakuhin.co.jp/>)

くすり相談

電話番号：0120-757-108

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他弊社の休業日を除く）